



2012年夏

SEARCH FOR HAMMERHEAD SHARKS

神子元島



今年もやってきました、ハンマーヘッドシャークシーズン！
一昨年は10年に一度の奇跡、
昨年は100年に一度の奇跡と呼ばれるほどの大フィーバー。
はたして今シーズンはいかに！？
足かけ15年、未だハンマー未体験の“持ってない男”がいく。

ハンマーヘッドシャークを求めて
伊豆半島最南端の海へ



のるかそるかのハンマーギャンブル。 結果やいかに!?

撮影：むらいさち
構成・文：寺山英樹
デザイン：Sana☆
取材協力：神子元ハンマーズ

伊豆半島の最南端・石廊崎の南東約10kmに浮かぶ神子元島

2012年夏 HAMMERS HIGH ハンマーズズハイ

出た!



2012年夏。7月末の爆発

2012年シーズン、最初のハンマー爆発は7月末。Aポイントと呼ばれる場所で、ハンマーが川の流れるように群れる、いわゆる“ハンマーリバー”と言ってもいい100匹オーバーの群れが登場し30分ずっと見られる状態に突入! さあ、いよいよハンマー祭り……と思った直後に台風の影響で、黒潮も離れ8月はやや苦戦。さあ、9～10月はいかに!? (詳しくは次ページ)



リアルタイムレポートはこちら!

◎1日目

神子元島ダイビング。本日も異常なし!

～ハンマーは幻だと思っ～

➔ http://oceana.ne.jp/from_ocean/27614

◎2日目

神子元島にハンマーヘッドは実在しました!

～ギャンブルの味を知る～

➔ http://oceana.ne.jp/from_ocean/27668

8月22日に登場したハンマーの群れ

初めて神子元島で潜ったのは、およそ15年前の学生時代。当時は完全無欠の“上級者の海”とされ、真っ黒なスーツに身を包んだ常連客の「君にこの海が潜れるのかい? 坊や」というオーラに気後れしながらおっかなびっくり潜ったことを昨日のこのように思い出す。エントリーすると、マスクが飛びそうなほどの激しい流れで、水中でもおっかなびっくり潜っていたが、向こう側が見えないほどのタカベの群れ、というより“壁”に衝撃。のち大感動。以来、群れ群れの海に魅せられ、年に1度程度は潜っていたが、15年積み重ねた結果、確信したことがある。それは、ハンマー

ヘッドシャークは幻。あるいはドッキリ。というか、ツチノコ?

あれから15年。2012年夏のとある火曜日の海の中。その日もイサキが湧き、タカベが降り、中層で衝突して大爆発。そしてどこか遠く

でハンマーが出て

いるらしい、チリンチリン!という水中ベルの幸せの音。転じて、こちらにとっての呪いの音……。15年変わらない、僕にとってのいつもの神子元。

しかし、いつもと違うその時は不意にやってきた。潜り始めておよそ20分。『チリ

ンチリン! チリンチリン!』どうせまた別の班……あれ? 近い? ひょっとして自分の班!? 辺りをグルリと見渡すと、神子元ハンマーズの店長ガイドのまことさんが水面を指さし、「出た!出た!」と全身で叫ん

15年目に味わう、ハンマーズズハイの恍惚

でいる。さらに、指さす先を見ると、とっくにガイドを追い越した常連ダイバーたちが猛ダッシュ。その視線の先にあるものは、もちろん想像はつくが、僕からは何も見えない。群れに夢中ですっかり出遅れてしまった。

よし、と気合を入れて、抵抗を減らすた

めに頭を下げ、フィンのしなりを活かせるよう、ヒザの“抜き”を使ってキックの回転数を上げてダッシュ。ひたすらダッシュ!

息も絶え絶え、先頭ダイバーと数メートルの距離まで近づくと、夢中でシャッター

を切っている
その様子から、
そのすぐ目の

前に積年の夢があることは明か。そこから、最後の力を振り絞り、顔を上げ、夢に向かって前を向きながらダッシュ。すると、プランクトンの霧が徐々に晴れ、その美しい流線型がボウと浮かび上がってくる。ボウ、ボウ、ボウ、ボウ……群れだ!

ついに、30匹近いハンマーの編隊との出遭いを果たしたものの、ダッシュし続けるとあっという間に置いていかれるため、ゆっくり観察したり、感動を噛みしめる余裕はない。ひたすらキックし続けながら、目を剥き、粘着性のある涎を飲み込み、とにかく心の中で「見た、見た、見た」とただただ繰り返すのみ。やがて、疲れて果て、キックを止めて、遠ざかるシルエットをボ～と見つめているとそれまでカーッとしていた頭のエンドルフィンに積年の思いが加わった脳内麻薬でも分泌されるのか、得も言われぬ幸福感に包まれる。この“ハンマーズズハイ”は、癖になる。

負け惜しみじゃないってば!

8月は爆発前夜

そして、9～10月の予感……



データが示す9～10月爆発の予感!? 奇跡の安売り大歓迎!

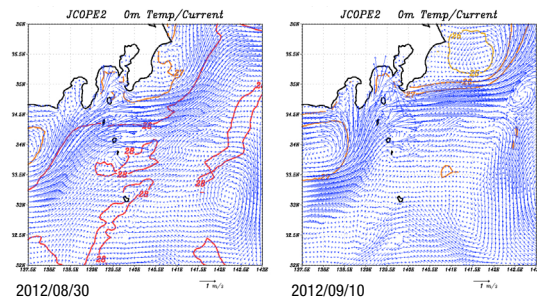
一昨年は10年に一度の奇跡、昨年は100年に一度の奇跡と言われたほどのハンマー大当たりの年となった。大きさではなく「視界の端から端までハンマー」「潜り始めてから潜り終わるまでハンマー」ということもあり、点と点で“出会いたいいな”のはずのハンマーに、“会いにいきよ”といった状態が続いた。

しかし、これがハードルを上げ過ぎた(笑)。慣れとは怖いもの、人間の欲とは

底がないもの。この経験から、ハンマーは見られて当たり前、「今年は1000年に一度の奇跡!?’なんて思ってしまいがちだが、そこは自然相手。今年の夏は昨年のような爆発はない。それでもこれほどの近場でこれほどの確率でハンマーに出遭える海は他にないだろう。

「黒潮がすべてです」とまことさんが言うように、一昨年、昨年は7～8月にたまたま黒潮が大接近して大当たりしたが、本来、

伊豆半島で黒潮が安定するのは9、10月。実際、一昨年以前の神子元では、コンスタントに水温が20度を超える9～10月が最もハンマーを安定して狙えるシーズンと言われていたのだ。逆にこれまで大爆発がなかったのは、今年9～10月の爆発の予感と受け止めたい。



JCOPE2の海洋変動予測 (8月31日現在)



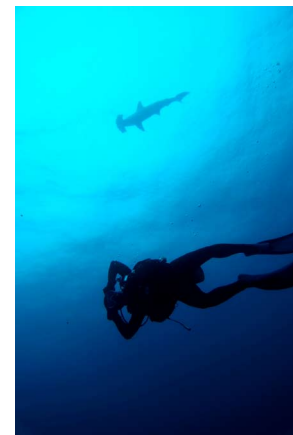
2012年夏 HAMMERS HIGH

ハンマーズハイ

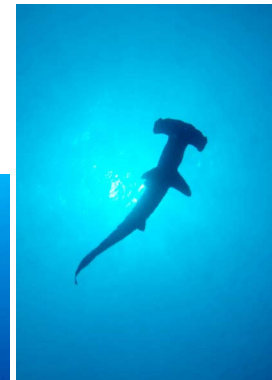
昨年、100年に一度と言われた大爆発時のハンマー

そんな期待を後押しするデータがある。海洋変動予測システムが、9月は黒潮大接近の予測を出している。左図を見るとわかるように、8月の黒潮がかなり離れているのに対して、9月の予測では大接近! これは期待できそう。一昨年、昨年に続く、奇跡よ再び。奇跡の安売り大歓迎!(笑)

でも、ギャンブルには勝つ人がいれば負ける人もいる。僕が15年かけて見たハンマーに、カメラマンの越智隆治は初神子元の本目目で100匹と遭遇。人生とは不公平なものである……。



越智隆治が1本目で撮ったハンマー動画はこちら
神子元島のハンマーヘッドシャーク群れ [2012.8.22 - YouTube]
➡ <http://www.youtube.com/watch?v=kGOWUnC3EXE>

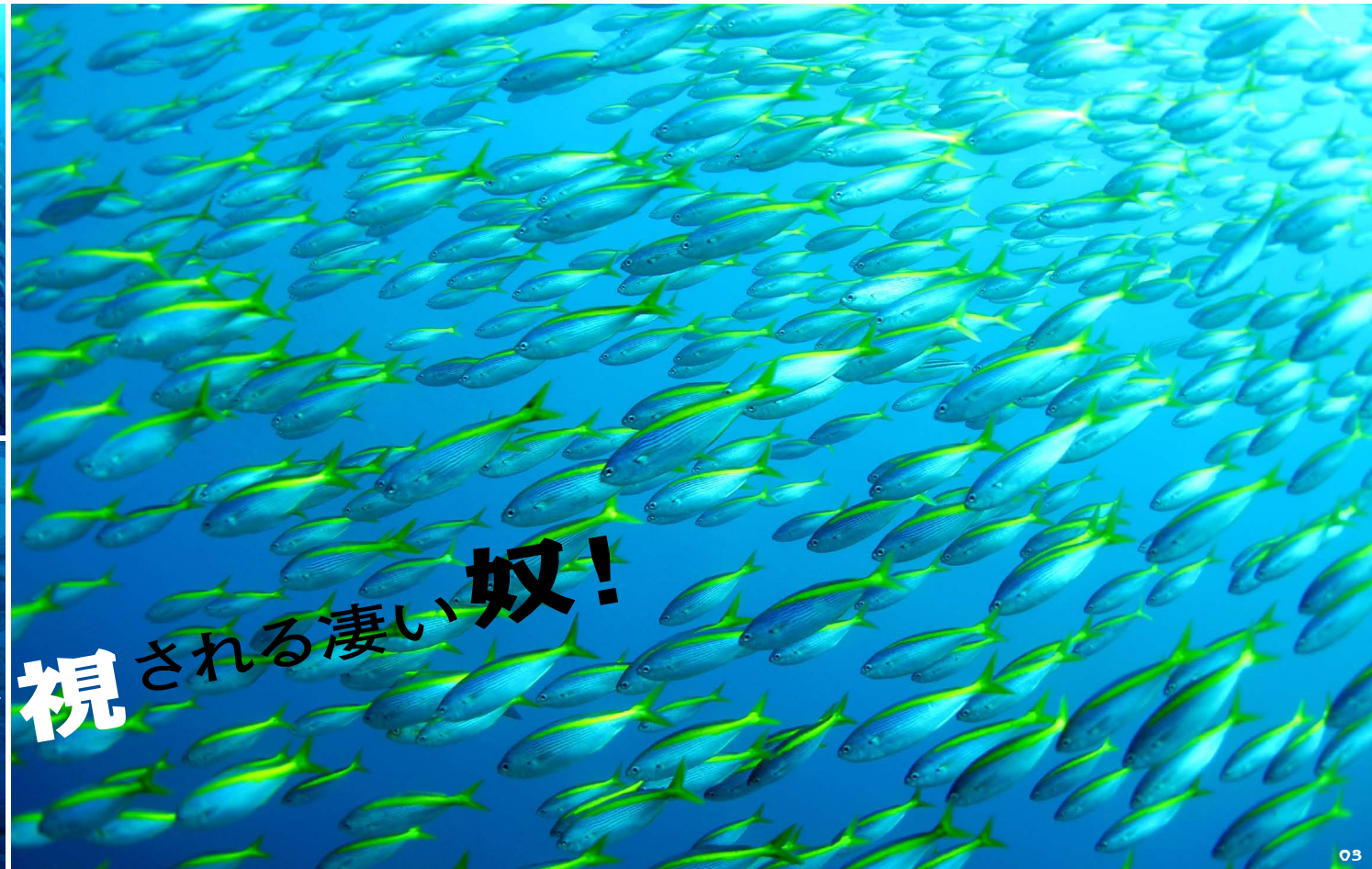
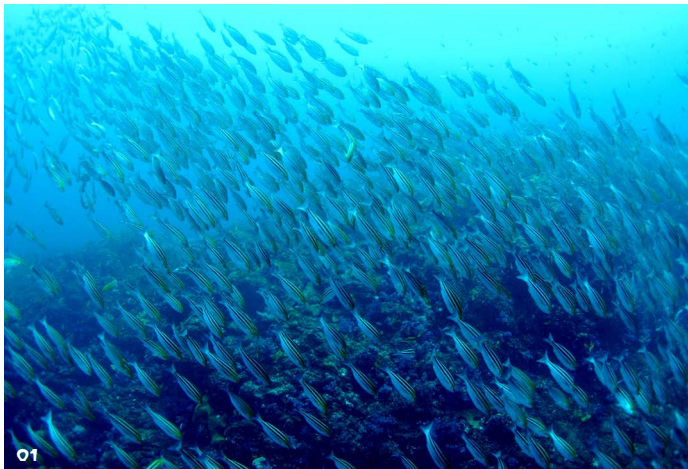


ハンマーを見たことなかった僕は知らなかった。
出た後、出遭った後がこんなに楽しいだなんて。
自然と湧き上がるテンションに出遭った人みんなが饒舌。
そして、幸福が船上を包み込む。
ハンマーズハイは後から効いてくるようだ。
全員が出遭った後の幸福のうねりとはどんなだろう……。

2012年夏 HAMMERS HIGH ハンマーズハイ



全ゲストがハンマーに当たったことを示す、神子元ハンマーズのハンマーポーズ



凄まじい、神子元の群れ

神子元へハンマーを当てに通うギャングラーたちは贅沢だ。イサキやタカベはほぼ無視で、中には「邪魔」という常連さんも……。確かに、ハンマーを中心に考えれば、実際、僕は群れに夢中でハンマーダッシュに出遅れたし、「視界を遮られるし」というのもわかる。

でも、視界を遮られる群れってスゴくないですか？ イサキとタカベが混じり合い、向

こう側が見えないほどの壁になる光景や水底や根を覆い尽くし、川の流れるようにうねる光景は圧巻で、何度見ても凄いと思うし、見ていて飽きない。

ギャングラーたちは、ハンマーを狙うために、とにかく上方を見つめながら泳ぎ、ハンマーを見つけることに集中する。自分がハンマーを見るまでは、「ハンマーだけじゃもったいない」と思っていたが、ギャングルに

勝ったときの味を知ってしまうと、スティックなハンマー狙いのダイビングもありだな、とは思う。

ただ、初めて神子元を潜るなら、これからのダイビングライフ、先は長いので、まずはキョロキョロしながらハンマー以外にも楽しんでみてはいかがだろう！？

特に、ワラサが渦巻く、通称“ワラネード”は見ごたえたっぷりだ。

01/ 降ってくるイサキの群れ

02/ ワラサが渦巻く“ワラネード”

03/ 壁のようなタカベの群れ

今日の神子元も群れ群れだよ〜♪



店長のまことさんと船長のりょうくん。その日の海況によって潜るポイントを的確に決める



ドリフトダイビング。 マスターすべき3つのこと

神子元島は、ドリフトダイビングと呼ばれる、潮に乗って潜るダイビングスタイル。流された先で船にピックアップしてもらえるので効率よく潜れる一方、ドリフトダイビングならではのスキルや注意点もある。

まず、潜降ロープがないので、ロープなしのフリー潜降ができなくてはならない。潜降でもたついてしまうと、チームはバラバラになってしまう。また、中性浮力のスキルも必須。流れに翻弄されずに水深を保つことができ、何もつかまるものない中層で、一定の水深を保って安全停止ができな

ければならない。そして、ある程度の経験も必要だろう。Cカード取得直後に、いきなりドリフトダイビングは無謀といえる。神子元島の場合、神子元ダイビング協議会の規定により、最低でも30本以上が、潜ることのできる条件になっている。

エントリーから潜降、浮上、中性浮力など、ダイビングに必要なスキルが完璧とまではいなくても、ストレスなくできるようになる程度の経験と自己管理できる意識が必要。つまり、自分のことは自分でできることがドリフトダイビングのパスポートとなる。

3つの最低条件

- フリー（ロープなし）潜降&浮上がスムーズ
- 一定の水深にとどまっていられる
- ダイビング経験30本以上&ボートダイビングの経験



間隔を置かずに入力できるように、あらかじめ並び、とどろん方式でどんどんエントリーする

ダイビングの流れとチェックポイント

1 ブリーフィングをしっかりと聞く

ドリフトダイビングの最大のポイントは、まずは“ブリーフィングをしっかりと聞く”こと。EN&EX法、集合方法、申告残圧、安全停止&浮上法など、要するにダイビング1本を頭でイメージできるまでしっかりと聞くということ。そして、絶対忘れてはいけないのが、はぐれたときの手順。通常は1分間その場で待たず、神子元の場合、一旦はぐれたら会える確率はかなり低いので、すぐに浮上する。

4 潜降は素早く！

エントリー同様、潜降も素早くまとまって行なう必要がある。オーソドックスな方法はヘッドファースト。おしぎするように腰を90度に曲げるのがポイント。足から潜降するならジャンピング潜降がオススメ。水面に向かって大きく息を吸いながらフィンキックし、体が水面から出たら、気をつけのポーズで息を吐き出す。勢いがつくので、素早く沈めるだろう。

7 中層で安全停止してから浮上

安全停止は、ガイドがフロートを打ち上げるので、そのロープ周辺にまとまって行なう。スキルのポイントは、一定の水深を保つこと。手元のコンピュータばかりを見ていると行動が半歩遅れてしまうので、ガイドを目安に、一定の水深を保つ。浮上も鉄則通り、まとまって行なうことが大事。水中でしばらくウロウロしているダイバーを見かけるが、ガイドが水面と水中の確認をしなければならぬし、船が近づくと、ダイバーが見えないと事故の原因にもなりかねない。しっかりと水面に浮上することは大事なのだ。

安全停止はフロートを打ち上げ、一定の水深を保っているガイドの周りで待たう



2 エントリー前のお作法

波が立つことの多い神子元では、船酔いの可能性が少なくない。酔い防止のためにも船上ではなるべく作業しないのが鉄則。慌てて作業しなくてもいいように、ポイントに到着する前に徐々にゆっくりと準備し、到着したらエントリーするだけの状態にしておこう。マスクに曇り止めをし、器材を装着して、体力を消耗しないようにタンクの底をイスに着けて座り、深呼吸をして心と呼吸が落ち着いたらときにスポットに到着するタイミングがベスト。焦るとロクなことがないので、ゆっくり準備することは大事なことなのだ。また、恥ずかしがらずに、薬を飲んだり、吐いてしまうことも大事。

5 持っておきたいセーフティグッズ

ドリフトで持っておきたいのは潮流対策グッズ。意外と盲点だがグローブが大事。流れに対して一番シンプルな対処法は泳がずに“つかまる”こと。グローブがあるのとないのでは大違いだ。また、ドリフトでは、即座に意思を伝えられるように水中ホーンやタンクを叩くものなど、“音”を出せるアイテムも必須だろう。万が一のグッズにはいろいろあるが、はぐれたときのために自分の位置を知らせる、シグナルフロートは必須。



エアを入れると海面で立ち上がる。船に発見、ピックアップしてもらおうための必須アイテム

3 エントリーは一斉に！

エントリーはまとまって行なうのが鉄則。間が空いてしまうと、潮が流れているのでダイバーが流され、おまけにアンカリングしないので風の影響で船も流されてしまう。結果、グループがバラバラになってしまう。一度船上に戻って仕切り直し、なんてことも。船の後ろから、とどろん方式でどんどんエントリー。エントリー後は、一旦水面でガイドのもとへ集合し、まとまって潜降する。

6 バラけず、ガイドのマネをしよう

水中では、“ガイドの行動をマネ”こと。ガイドは流れを考え、必然性の上で行動しているので、特に指示がない場合でも同じように行動してみるといい。ガイドが岩をつかみながら移動し始めたら自分も同じように行動し、流れに対する泳ぎ方なども参考に。常に一緒に行動することも大事。あまり離れないようにして、水深やコースはガイドと同じ位置かやや上方をキープしよう。

8 船が来たら素早くエグジット

浮上後はBCに給気してグループでまとまっていれば、ボートの方から近づいてきてピックアップしてくれる。逆にこちらから泳いでいくとボートは動いているものに近づかねばならず迷惑だ。ボートがアクセルを止めてすぐ近くまで来たら、この一瞬だけはダッシュして素早くラダーをつかみ、タラップに足をかけたら、そのままフィンを履いた状態で立ち上がる。パワーリフトで持ち上げてもらったら、後ろから来る人のために、どんどん船の奥へつめていく。



タラップに立ち上がると、パワーリフトで持ち上げてくれる

ダイビングの後にオススメ!

塩アイス

弓ヶ浜海岸近くにある酒屋「岩田商店」の名物といえばこれ。ミルクの甘みと塩味が絡んで、甘みが増しているような、さっぱりしているような不思議な味で癖になる。



ダイバーの新名所!?

海の神様・龍神様

南伊豆で唯一の海の神様。漁師さんが海上安全祈願などをする神様だが、神子元島が見えることから、ハンマーが出るようにお願いしたところ、15年目に初めてハンマーに遭遇。ハンマー神社と呼ばれる日も近い!?



今夜の食卓にぜひ

新鮮な直産野菜

伊豆最南端の道の駅「湯の花」内にある直売所の新鮮な朝どり野菜や地のりなどがオススメ。手湯・足湯や喫茶コーナーなどちょっとつるげるのも嬉しい

→ http://www.cbr.mlit.go.jp/michinoeki/fl_s_20.html



神子元らしい海の幸

S級サザエ

神子元島周辺でとれた貴重なサザエ。高級料亭で出されるような、巨大なサザエを安価で買うことができる。「青木さざえ店」で買える

→ <http://aoki-sazae.com/>



神子元フリークに聞きました!

南伊豆の人気 アフターダイビング



お土産、贈り物に最適 温泉メロン

自家温泉による温室栽培された最高級メロン。糖度14%以上でとにかく甘い! 一般には出荷していないので、おみやげに喜ばれる「さとう温泉メロン」

→ <http://www.minami-izu.net/melon/main/index.htm>



ダイバーにも人気の温泉 銀の湯会館

下賀茂地区にある温泉施設。100度の源泉が湧き出し、立ちのぼる湯けむりが目印。大浴場、露天風呂、薬草風呂、サウナが楽しめるだけでなく、売店では温泉でゆでた玉子やサツマイモなどお土産ものも充実している。

→ <http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/form1.php?pid=221>



今回の取材でイチオシ!

脱皮海老

文字通り脱皮したての海老なので、殻ごと食べられる。軟らかい殻がほどよい風味となり、頭の濃厚なミンが塩の風味を相まって絶品! その他、南伊豆の豊かな湧水と太陽の恵みで作られた、添加物、着色料なしの干物もオススメ。「旭洋丸水産」

→ <http://www.kyokuyo-maru.com/>



船から見られる渚百選

弓ヶ浜

渚百選にも選ばれた、文字通り、弓状になった美しい海岸で、夏は海水浴客でにぎわう。特にダイバーが行くことはないが、港から神子元島へ向かう際に、海側から見られるのでちょっとお得な気分!?





ラウンジ、シャワー、宿泊、テラス、浴室などなど、すべてが一体化した施設で、とても潜り勝手がよく、快適に過ごすことができる。食事は陸スタッフのマリちゃんが腕ふるう



フリーフィンギングやロギングは、ラウンジで行なう

今年、移転・リニューアルオープンした「神子元ハンマーズ」は、ひまわり畑のすぐ隣、ブルーの建物が目印。とっても目立つのですぐわかるはず。中に入ると、サービス名の通り、施設のあらゆるところにハンマーグッズがちりばめられている。

ダイビングサービスと宿が一体化し、ダイバーが1日を快適に過ごせるよう考え尽くされた施設と導線。夜中からでも泊まれるうえに、一体だから宿泊費も安い！ マリちゃんお手製の料理は常連客にも評判。焼肉丼、ゴーヤーチャンプルー、チキン南

蛮、カレーライス……どれもおいしかったなあ。さらに、コーヒー飲み放題、パソコン設置、脱水機完備など、かゆいところに手が届くサービス。心置きなくハンマーを狙える環境だ。

店長のまことさん(有松真)とコースディレクターのあきをさん(渋谷顕男)を中心に、チームワーク抜群。安全にハンマーを見ることをモットーに日々潜る、笑いの絶えない居心地の良いダイビングサービスだ。居心地が良すぎて、2日間の予定がつい4日間もいてしまった……。

「神子元にはお金は落ちていません。一緒に上を見て潜りましょう！(笑)。一人でも、初めてでも気軽にお越しくださいませ」(まことさん)



〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊353-6
TEL&FAX → 0558-62-4105
→ <http://www.mikomoto.com/>

移転・リニューアルオープン!

神子元ハンマーズ



ハンマーへの愛がいたるところに……是非ぜひ宿泊して探してね!